

# ローマンカモミール”クルツ”の施工・管理方法

## 基本的な性質

分類	常緑性グランドカバー
栽培エリア	日本全土(-30℃になる土別でも冬越し確認済み)
日照条件	半日以上の直射日光が必要
開花期間	5月中旬～7月中旬(開花時の草丈は30cm近い)
草姿	通常草丈は5～10cm、草丈が低いいためコンパクトな形状を維持
生長速度	直径9cmの苗が3ヶ月後に直径18cmに生育
施肥量	普通(元肥 5gN/m <sup>2</sup> 緩効性肥料)

## 植栽工事

施工時期	初春(3月～5月)、秋季(9月～11月)
土壌改良	保水性が多い土壌が最適
植栽密度	4～9株/m <sup>2</sup> (9cmポット苗 9株/m <sup>2</sup> 使用時、約3ヶ月後に緑地完成)

## 管理

スケジュール

作業項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
植付け			←		→				←	→		
剪定			開花させない場合▲			▲開花後の剪定				←	→	必須
追肥					←	→				←	→	
薬剤散布					←	-----			→			
灌水						←	→					

### 剪定

- 刈高2～3cmを目安に刈り込みを実施(年2～3回)。  
高温多湿時には灰カビ病が発生する可能性があるため、梅雨前に刈り込みを行うことが望ましい。
- 注意事項:**花芽が5月～7月にかけて上がり出すが、早めに刈り込むことで美しい芝として年中楽しむことが可能。  
花を楽しむ場合でも、開花後早めに刈り込むことで、梅雨の株ダメージを少なくすることができる。
- 秋に剪定を行うことにより、耐寒性のある葉が伸び、常緑な芝を初冬まで楽しむことが可能。

### 追肥

- 夏、秋の剪定後には、5gN/m<sup>2</sup>を目安に、芝用の小粒肥料を施した直後に灌水することで肥料焼けを防ぐ。
- 2年目以降は、株の中心部で肥料不足になりがちであるため注意。

### 薬剤散布

- 病害虫の被害は少ないが、まれにアブラムシ等が発生する。
- 薬害については特に発生がないため、病害に合わせた薬剤を散布する。

### 灌水

- 耐暑性を発揮させるには、夏場の灌水が必要。
- 保水性の良い土壌でも、3日に1回は灌水を行う。